MA1006-A

CASIO®

P

5123＊JA

取扱説明書

5123

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
※ 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる描写を行なっているものがあります。ご了承ください。

■本機の特長

- ●ソーラーパワー
- ●ストップウオッチ
- ●ワールドタイム
- ●アラーム

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにしてお使いください。
（充電時間については、10 ページの「充電の目安」をご参照ください）

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

お使いになる前に

■ 十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を二次電池に充電しながら使うようになっております。保管期間により電池容量が減っている場合がありますので、お使いいただく前に十分に充電してください。詳しくは 8 ページをご覧ください。

●充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、時刻モードで秒針が 2 秒ごとに運針を行ない、充電不足をお知らせします。詳しくは 9 ページをご覧ください。



2秒ごとに運針

■ パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに本機を放置すると自動的に針の動きを停止してスリープ状態にし、節電する機能です。
文字板に光をあてるかボタン操作をすることでスリープ状態は解除されます。

※ 針は停止していますが、時計内部では時を刻み続けています。
※ 時計が袖などで隠れている場合でも、スリープ状態になることがあります。
※ ストップウオッチモードのときは、スリープ状態になりません。

＜参考＞スリープ状態になるには

●スリープレベル 1
午後 10 時～午前 6 時の間、暗いところで本機を約 1 時間放置したとき。

- 秒針がその場で停止します。

※ 時針、時針（24 時間制）、分針、日付表示、ワールドタイム時分針は運針を継続します。
※ アラームの報音は行ないます。

●スリープレベル 2
スリープレベル 1 のまま暗いところで 6 ～ 7 日間経過したとき。

- 時針、時針（24 時間制）、分針、ワールドタイム時分針はその場で停止します。
- ワールドタイムモードの場合は、時刻モードの時刻が「0：00」になったときに、停止します。
- アラームの報音は行ないません。

※ 日付表示は継続します。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

お使いになる前に 4
- 十分に光を当ててください 4
- パワーセービング機能について 4

操作のしくみと表示の見方 6

ソーラー充電について 8

ストップウオッチの使い方 11
- ストップウオッチ針の見かた 11
- 計測のしかた 12

ワールドタイムの使い方 14
- 都市のサーチ 14
- サマータイムについて 15
- サマータイムの設定 15
- ホームタイム都市との入替え 16
- 都市コード一覧表 17

アラームの使い方 18
- アラーム時刻のセット 18
- アラームの ON ／ OFF 設定 19
- 鳴っている電子音を止めるには 19

ホームタイム都市、サマータイム設定のしかた 20

時刻・カレンダーの合わせ方 22

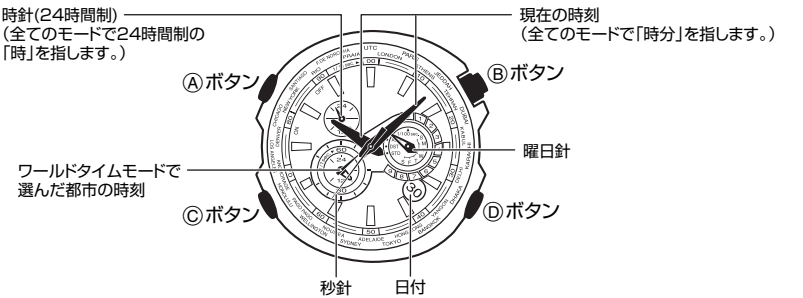
針／日付の基準位置合わせ 26

- 製品仕様 30
- ご使用上の注意 38
- お手入れについて 41
- 本製品で使用している電池について 42
- 金属バンドの駒詰めについて 42

操作のしくみと表示の見方

時刻モード

Ⓒボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※ モード切替え後、約1秒経ってからモードの表示に切り替わります。
※ 早送りで運針しているときにボタン操作を行なうと、針が一時停止する場合があります。



● 曜日針について
曜日針は針の短いほうで曜日を指します。上から順に、以下のように曜日を表わしています。

S：日曜日　M：月曜日　T：火曜日　W：水曜日　T：木曜日　F：金曜日　S：土曜日

● Ⓒ ボタンを押すとストップウオッチモード、ワールドタイムモード、アラームモードに切り替わります。
● Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続けると、どの状態からでも時刻モードに戻ります。

ストップウオッチモード

1/100秒単位で23分59秒99(24分計)まで計測できます。

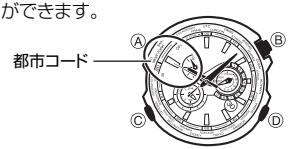


P-11

Ⓒ

ワールドタイムモード

世界29都市29タイムゾーンの時刻を知ることができます。

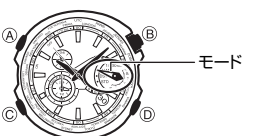


P-14

Ⓒ

アラームモード

アラーム時刻のセットとON/OFFの選択ができます。



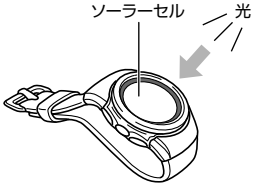
P-18

Ⓒ

ソーラー充電について

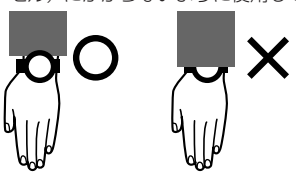
本機は、光で発電した電気を二次電池に充電しながら使うようになっております。
安定した状態でお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

● 腕から外したときは文字板（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

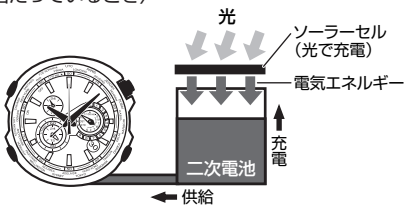
● 腕に付けているときはなるべく衣類の袖が文字板（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



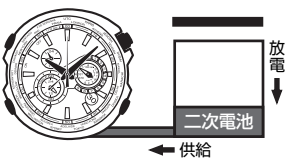
一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

● 光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは二次電池の容量が減って機能が使えなくなります。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電切れ予告

二次電池の容量が少なくなると、時刻モードで秒針が2秒ごとに運針を行ない、充電不足をお知らせします。

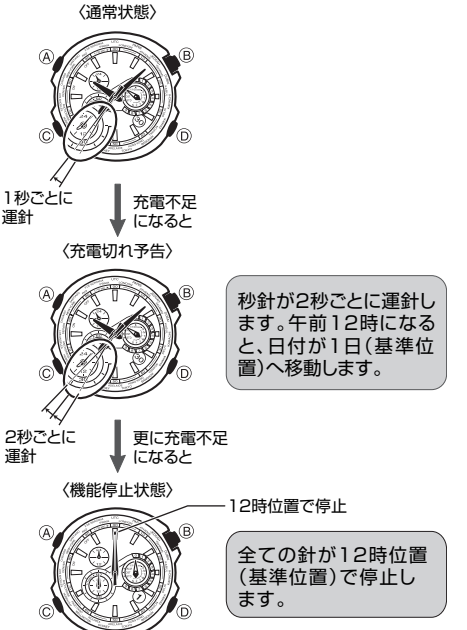
＜注意＞

アラームは報音しません。

※ 機能停止状態になっても再度充電を行なうと使用できます。

※ 機能停止状態から充電したときは、十分に充電されると針が現在時刻の位置まで移動します。

※ 通常状態になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。



●リカバー状態について

アラームなどを短時間に連続して使用し、二次電池に大きな負担がかかった場合、一時的に運針を停止し、全ての機能が使えなくなる場合があります。
時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

●充電の目安

- **安定した状態で時計を使用するために必要な 1 日当たりの充電時間**

※ 1 日当たりアラームを 10 秒間使用した場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 8 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 30 分
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	約 48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 8 時間

※ こまめに充電を行なえば、安定した状態でご使用いただけます。

- 各状態に回復するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間	
	運針開始まで	フル充電まで
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 2 時間	約 27 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 6 時間	約 100 時間
曇り日の窓際など（5,000 ルクス）	約 10 時間	---
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 112 時間	---

※ この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

ストップウオッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

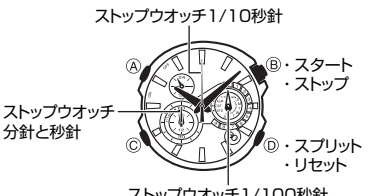
ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 分 59 秒 99（24 分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ ストップウオッチ針の見かた

● 時刻モードと異なる針の割り振りになっています

時刻モード	ストップウオッチモード
ワールドタイム都市用の時針	分針
ワールドタイム都市用の分針	秒針
通常時計の秒針	1/10 秒針
通常時計の曜日針	1/100 秒針

※ 通常時計の時針と分針は現在時刻を表示し続けます。



● 針の動きには以下のような特徴があります

- ストップウオッチの秒針（8 時側にある小針の長針）は計測中常に 1 秒運針を続けます。分針は秒針に連動します（ストップウオッチの分針は 8 時側にある小針の短針です）。
- 1/10 秒針（中央の最も長い針）は計測開始から 30 秒間動作し、その後 12 時位置で停止します。
- 1/100 秒針（時刻モードでは曜日を指す針）は計測中常に 0 位置で停止しています。
- ストップウオッチの計測ストップあるいはスプリットタイムを表示するとき、これらの針は計測タイムの正しい位置に移動します。

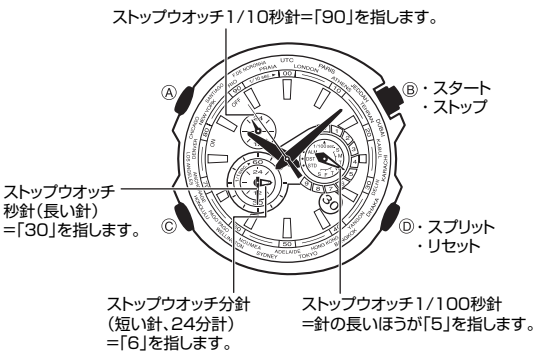
■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

例）計測ストップ時のタイムが「6 分 30 秒 95」の場合



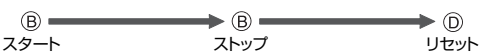
● 計測中に Ⓓ ボタンを押すと、針は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。スプリットは約 5 秒後に自動的に解除され、計測タイムの運針に戻ります。

● 1/10 秒針は、計測スタートまたは再スタート後の 30 秒間のみ動きます。ストップ後は、計測値を指します。

● 計測をストップした後、Ⓓ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

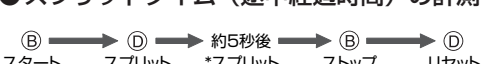
※ ストップウオッチの計測値を表示するために針が動いている間は、スプリットとリセットの操作はできません。

●通常計測



積算計測…ストップ後リセットせずに Ⓑ ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を再開します。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

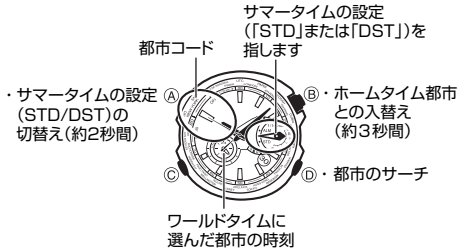


* 約 5 秒間スプリット値を指した後、計測状態に戻ります。

ワールドタイムの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 都市（29 タイムゾーン）の時刻を知ることができます。また、ワールドタイムモードで選んでいる都市を、ホームタイム都市と入れ替えることもできます。



※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を指します。

※ ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。

＜ご注意＞

ワールドタイムに選んだ都市の時刻が合っていないときは、ホームタイムの都市と時刻を確認してください。違っているときは正しくセットし直してください。

※ セットについては 20 ページをご覧ください。

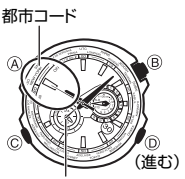
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。

※ 都市を選んでから約 1 秒後にその都市の時刻にかわります。



■ サマータイムについて

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

●サマータイムが設定されていないとき 針が「STD」（スタンダードタイム）を指します。
●サマータイムが設定されているとき 針が「DST」を指します。スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。

■ サマータイムの設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

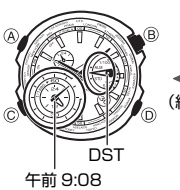
Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

➠Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けるごとにサマータイム「DST」とスタンダードタイム「STD」が切り替わります。

※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“UTC”にはサマータイムの設定はできません。

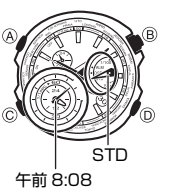
※ ホームタイムで設定している都市のサマータイム設定をワールドタイムモード内で切り替えたときは、ホームタイム（基本時刻）のサマータイム設定も切り替わります。

〈都市：NEW YORK/NYC、午前 9:08、DST〉



Ⓐ
（約2秒間）

〈都市：NEW YORK/NYC、午前 8:08、STD〉



■ ホームタイム都市との入替え

現在ワールドタイムモードで選んでいる都市を、ホームタイム都市と入れ替える（ホームタイム都市に設定する）ことができます。

例：ホームタイム都市を東京（TOKYO/TYO）からニューヨーク（NEW YORK/NYC）に設定する。

	ホームタイム都市	ワールドタイムモードでの都市
操作前	東京 午後 10 時 08 分 （スタンダードタイム）	ニューヨーク 午前 9 時 08 分 （サマータイム）
操作後	ニューヨーク 午前 9 時 08 分 （サマータイム）	東京 午後 10 時 08 分 （スタンダードタイム）

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

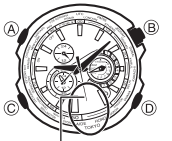


2. ホームタイム都市を入れ替える

Ⓑ ボタンを約 3 秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、*1.* で選んだ都市（ニューヨーク）がホームタイム都市になります。

※時刻モードの時分針はニューヨークの時刻を指します。ワールドタイムを表わす 8 時側の小さい時分針は東京の時刻を指します。



■都市コード一覧表

コード		時差	都市名
UTC		0	＜協定世界時＞
LONDON	(LON)	0	ロンドン
PARIS	(PAR)	＋1	パリ
ATHENS	(ATH)	＋2	アテネ
JEDDAH	(JED)	＋3	ジェッダ
TEHRAN	(THR)	＋3.5	テヘラン
DUBAI	(DXB)	＋4	ドバイ
KABUL	(KBL)	＋4.5	カブール
KARACHI	(KHI)	＋5	カラチ
DELHI	(DEL)	＋5.5	デリー
DHAKA	(DAC)	＋6	ダッカ
YANGON	(RGN)	＋6.5	ヤンゴン
BANGKOK	(BKK)	＋7	バンコク
HONG KONG	(HKG)	＋8	香港
TOKYO	(TYO)	＋9	東京

コード		時差	都市名
ADELAIDE	(ADL)	＋9.5	アデレード
SYDNEY	(SYD)	＋10	シドニー
NOUMEA	(NOU)	＋11	ヌーメア
WELLINGTON	(WLG)	＋12	ウェリントン
PAGO PAGO	(PPG)	－11	パゴパゴ
HONOLULU	(HNL)	－10	ホノルル
ANCHORAGE	(ANC)	－9	アンカレジ
LOS ANGELES	(LAX)	－8	ロサンゼルス
DENVER	(DEN)	－7	デンバー
CHICAGO	(CHI)	－6	シカゴ
NEW YORK	(NYC)	－5	ニューヨーク
SANTIAGO	(SCL)	－4	サンティアゴ
RIO		－3	リオデジャネイロ
F.DE NORONHA	(FEN)	－2	ﾌｪﾙﾅﾝﾄﾞ･ﾃﾞ･ﾉﾛｰﾆｬ
PRAIA	(RAI)	－1	プライア

※ この表は 2009 年 12 月現在作成のものです。
※ この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです 。
※ 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

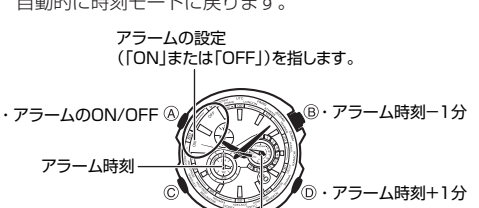
アラームの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームモードでは時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。

※ アラームは時刻モードの時刻に合わせて鳴ります。

※ アラームモードで 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



■ アラーム時刻のセット

アラームモードのとき、

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 分ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。
早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

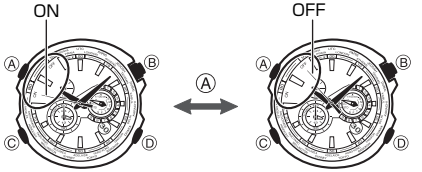


■ アラームの ON ／ OFF 設定

アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

➟Ⓐ ボタンを押すごとに、「ON」と「OFF」が切り替わります。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ホームタイム都市、サマータイム設定のしかた

ホームタイム都市（お使いになる地域や都市）、サマータイムの設定をします。

※ ホームタイム都市やサマータイムの設定は、時刻モードで行ないます。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続けます

➡秒針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動します。

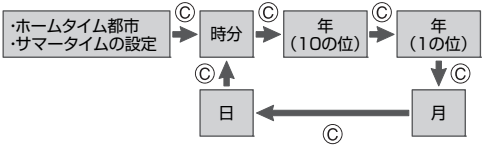
※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



都市コード

※ 修正できる項目は、Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。

※ Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。



時刻や日付を合わせるには「時刻·カレンダーの合わせ方」（22 ページ）をご覧ください。

2. ホームタイム都市を選ぶ

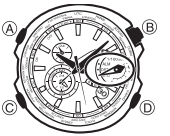
Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに秒針が 1 都市ずつ進みます。そのまま約 1 秒おくと変更した都市の時刻を表示します。



3. サマータイムを設定する

Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓑ ボタンを押すごとに「STD」と「DST」が切り替わります。

※ ホームタイムの時刻を表示するために針が動いている間は、サマータイムの設定を切り替えることはできません。

● サマータイムが設定されていないとき 針が「STD」（スタンダードタイム）を指します。
● サマータイムが設定されているとき 針が「DST」を指します。スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。

※ 続けて、「時刻、カレンダーを修正する」場合は、22ページの手順 ***2.*** に進んでください。
ただし、「時刻、カレンダーを修正する」操作に入ると、「ホームタイム都市、サマータイムの設定」状態に戻ることはできません。
もう一度、「ホームタイム都市、サマータイムの設定」状態にする場合は、Ⓐ ボタンを押して時刻モードに戻した後、20ページの手順 ***1.*** から操作をやり直してください。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

➡セット状態が解除されて、変更した設定に対応した時刻に修正されます。
秒針は、時計内部で刻み続けていた秒の値から動き始めます。

時刻・カレンダーの合わせ方

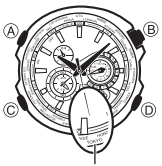
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続けます

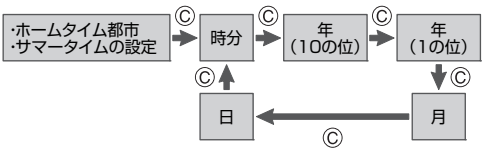
➡秒針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



※ 修正できる項目は、Ⓒ ボタンを押すごとに、右記の順で切り替わります。

※ Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。



ホームタイム都市、サマータイム設定をするには「ホームタイム都市、サマータイム設定のしかた」（20 ページ）をご覧ください。

2. 「時刻」、「カレンダー」を修正する状態にする

Ⓒ ボタンを押します

➡秒針と曜日針が 12 時位置に移動します（曜日針は真上を向きます）。



3. 時分を修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 分ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※ 時針は分針に連動して動きます。

※ 24 時間表示の小針で午前と午後を区別してください。

4. 「年（10 の位）修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

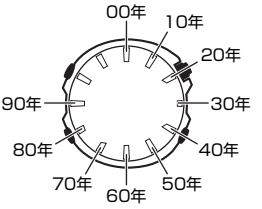
➡年の 10 の位を修正する状態になります。

5. 年の 10 の位を修正する

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、「10 の位」が 1 つずつ進みます。





6. 「年（1 の位）修正」にする

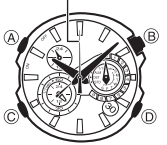
Ⓒ ボタンを押します

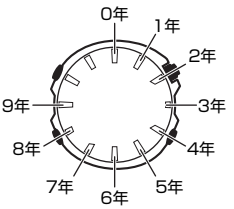
➠年の 1 の位を修正する状態になります。

7. 年の 1 の位を修正する

Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに、「1 の位」が 1 つずつ進みます。





8. 「月修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

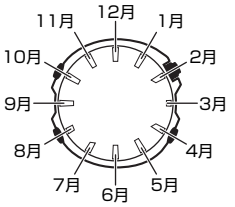
➠月を修正する状態になります。



9. 月を修正する

Ⓓ ボタンを押します

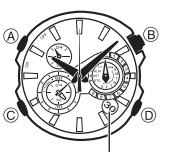
➠Ⓓ ボタンを押すごとに、1 月ずつ進みます。



10. 「日付修正」にする

Ⓒ ボタンを押します

➠日付を修正する状態になります。



11. 日付を修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 日ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 日ずつ戻ります。



12. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します



➠セット状態が解除され、時分針と日付が設定した値を指します。

※ 曜日は自動的に算出されます。

※ 秒針は自動的に 0 秒に戻ってから運針を再開します。

※「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

針／日付の基準位置合わせ

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付が基準位置からずれることがあり、正しい時刻を表示できません。以下の操作を行なって針や日付の基準位置を確認し、ずれている場合は、基準位置を合わせてください。

※ 時刻や日付が合っているときは、針の基準位置合わせを行なう必要はありません。

1. 基準位置確認状態にする

時刻モードのとき、

Ⓓ ボタンを約 3 秒間押し続けます

➡押し続けると約 3 秒後に秒針が基準位置に移動して停止します。秒針が停止したらボタンを離します。

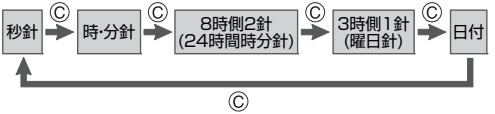
※ 基準位置確認状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。なお、時刻モードに戻るまでに行なった変更は保持されます。



※ 修正できる項目は、Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。

※ ボタン操作は針が止まってから始めてください。

※ Ⓒ ボタンを約 2 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。



2. 秒針を確認する

＜基準位置＞
秒針：12 時位置

★秒針が基準位置にある場合は、手順 *4.* に進みます。

※ 基準位置確認状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

秒針がずれている場合

3. 基準位置を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

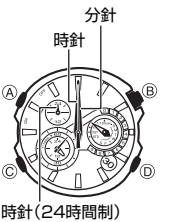
※ Ⓓ ボタンを押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

4. 時・分針を確認する

Ⓒ ボタンを押します

➡時･分針と時針（24 時間制）が基準位置に移動します。

＜基準位置＞
時針：12 時位置
分針：12 時位置
時針（24 時間制）：
「24」位置



★時･分針と時針(24 時間制)が基準位置にある場合は、手順 ***6.*** に進みます。

時針と分針がずれている場合

5. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

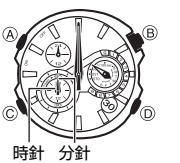
※ 時針（24 時間制）は時･分針に連動して動きます。

6. 8 時側 2 針（24 時間時分針）を確認する

Ⓒ ボタンを押します

8 時側 2 針の時・分針が基準位置に移動します。

＜基準位置＞
時針：「24」位置
分針：「24」位置



★8時側2針の時・分針が基準位置にある場合は、手順*8.*に進みます。

8時側2針の時針と分針がずれている場合

7. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

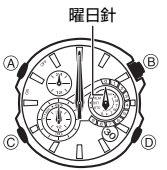
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

8. 3時側1針（曜日針）を確認する

Ⓒ ボタンを押します

➡曜日針が基準位置に移動します。

＜基準位置＞
曜日針：12時位置



★曜日針が基準位置にある場合は、手順 ***10.*** に進みます。

曜日針がずれている場合

9. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

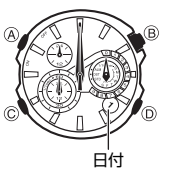
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

10. 日付を確認する

Ⓒ ボタンを押します

➡日付が基準位置に移動します。

＜基準位置＞
日付：1日



★日付が基準位置にある場合は、手順 ***12.*** に進みます。

日付がずれている場合

11. 基準位置を合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに少しずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに少しずつ戻ります。

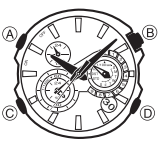
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

12. 基準位置合わせを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

※ Ⓐ ボタンを押さずに Ⓒ ボタンを押すと、最初の秒針の基準位置確認に戻ります。



基準位置合わせが終了したら、時刻や日付・曜日などがずれていないことをご確認ください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±15秒以内

基本機能：時·分（10秒運針）、秒、24時間制、日付、
曜日、ワールドタイム

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23分59秒99（24分計）
計測機能＝通常計測、スプリット計測、
積算計測

ワールドタイム機能：世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を
表示、サマータイム設定機能、ホームタイム
都市設定機能

アラーム機能：セット単位＝時·分
電子音＝10秒間

その他：自動復帰機能、
パワーセービング機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：二次電池

持続時間：約6ヵ月
（光に当てないで、1日あたり、
アラーム機能で電子音を10秒間使用
した場合）

memo


memo

memo


memo


memo


memo

ご使用上の注意

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース·バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース·バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーセルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノお客様修理相談センターにご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。